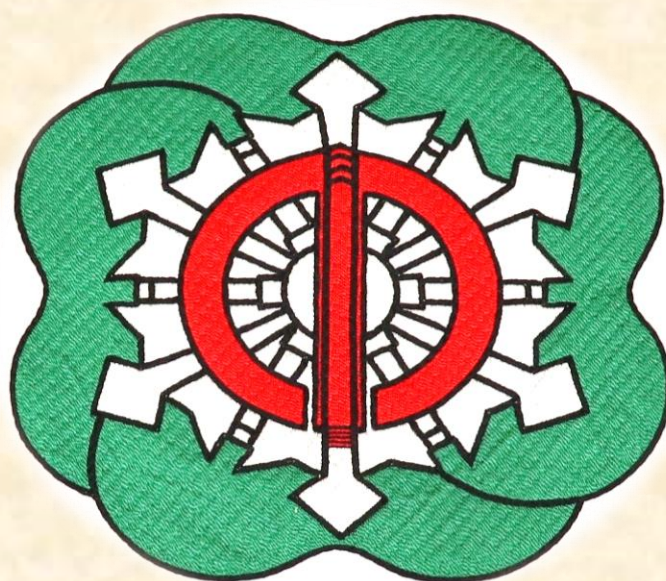


入間東部消防のあゆみ

IRUMATOHBU FIRE DEPT

設立50周年記念

50th history of fire service



SINCE

1970 → 2020

50th anniversary

入間東部地区事務組合消防本部

入間東部消防 設立50周年記念



消防本部旗

旗生地：白色西陣成絹綾織
組合章：赤緑黒系の総刺繡
飾 房：金糸四段七宝結び

INDEX

挨拶

入間東部地区事務組合管理者1
入間東部地区事務組合議会議長2
入間東部地区事務組合消防本部消防長3
富士見市消防団長・ふじみ野市消防団長・三芳町消防団長4

紹介

入間東部地区事務組合正副管理者5
入間東部地区事務組合議会議員6
歴代消防長7
職務倫理の基本8

第1章 入間東部消防50年の変遷

昭和46年当時の消防組合消防施設配置図9
1967年[昭和42年]～13

第2章 災害に強いまちづくり

警防編26
救急編29
救助編32
消防団編35

第3章 消防施設・消防車両

消防庁舎編39
消防車両編43

第4章 事務組合資料

消防施設配置図49
消防年報のあゆみ50
入間東部地区事務組合機構図51
50年間の人口と世帯数の推移52
50年間の出場件数の推移53
紋章54

第5章 職員厚生活動

各部活動の紹介55

編集後記59

設立50周年を迎えて



入間東部地区事務組合
管理者 星野光弘

このたび、入間東部地区広域消防防災体制の設立から50年という大きな節目を迎えました。これまで消防行政発展のため、御尽力を賜りました関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

入間東部地区消防組合は昭和45年11月に、福岡町、富士見町、大井町、三芳町の4町を管轄する組合消防として発足いたしました。この間、地域の皆様のお力添えを賜り、施設や装備の整備充実及び組織の拡充を図り、消防力の強化に努めてきたところです。

設立当時の入間東部地区管内は、人口が約14万人の田園都市でありましたが、首都近郊という至便な地理的条件から、住宅地やマンションの造成、大型店舗の進出による都市化の進展により、現在の人口は約26万人と急増し、大きく躍進している地域であります。

こうした人口の増加や社会環境の変化に伴い、災害の様相にも大きな変化が見られます。火災件数は減少傾向にあるものの、救急件数は大幅に増加しております。また、近年は集中豪雨による浸水被害が頻繁に発生するなど劇的に変化していく環境の中で、消防は変化を敏感に感じ取り、ニーズを的確に捉えていかなければなりません。そのためには先輩方が培ってきた様々な技術を継承しながらも、新たな技術や知識を積極的に取り入れ、時代に即した消防へと歩み進めていくことが必要であると感じております。

住民生活を脅かす様々な災害から生命・身体・財産を守るという消防の原点を踏まえ、設立から50年という節目をこれから先の未来に向けた体制づくりの契機として取り組んでまいりたいと思います。

結びに、今後も地域に密着した消防として地域の皆様の安全と安心を最優先に取り組んでまいりますので、皆様の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。設立50年に当たっての挨拶とさせていただきます。

50周年を祝して



入間東部地区事務組合議会
議長 齊藤 隆浩

入間東部消防発足50周年に当たり、心からお祝いを申し上げます。

また、消防職員、消防団員の皆様方には、管内26万人の生命、身体及び財産を火災や風水害などの各種災害から保護するとともに、これらの災害による被害を最小限にとどめるため、日夜献身的に御尽力いただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、富士見市、ふじみ野市、三芳町を含めた入間東部地域は東京のベッドタウンとして、この50年の間に目覚ましい発展を遂げ、今もなお、都市化の進展とともに人口の増加が続いております。そうした都市化の進展や人口の増加に伴い、消防力の強化が推進され、組織や施設、装備等の充実により各種災害に対応出来る消防力を備えてまいりました。

その一方で、社会構造や自然環境の変化等により、災害も複雑多様化しており、さらに近年の自然災害は我々の想定を遥かに超えるような甚大な被害をもたらすなど、安全で安心な生活を願う住民の皆様への消防に寄せる期待は高まってきていると感じております。今後におきましても、50年にわたる歳月の中で培ってきた経験と技術力を遺憾無く発揮していただき、引き続き住民の皆様への安全と安心の確保に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

入間東部地区事務組合議会といたしましても、災害に強く安全で安心な地域社会づくりに向けて消防防災体制の充実強化をさらに推進してまいり所存でございますので、皆様におかれましても地域住民の信頼と期待に応えるべく、更なる御尽力をお願い申し上げます。

結びに当たり、消防職員、消防団員の皆様方におかれましては、御健康に留意され、御活躍されますとともに、50周年を契機に入間東部地区事務組合消防本部が益々発展されますことを御祈念いたしまして、お祝いの言葉に変えさせていただきます。

組合消防発足50周年を迎えて



入間東部地区事務組合消防本部
消防長 玉田 幸三

入間東部地区消防組合が昭和45年11月に開設して以来、50周年の記念すべき年を迎えられたことを心から慶ぶとともに、これまで多くの消防関係皆様の御苦労や御努力に敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

消防組合開設当初、1本部1署、消防職員27名でスタートし、それから半世紀、先輩諸兄の御尽力により入間東部消防の機動力は飛躍的に向上されてきました。そして、現在1本部2署3分署、消防職員286名によって入間東部地区住民の生命、身体、財産を火災等の災害から保護することを目的として、日々消防活動を行っております。また、常日頃より地域の防火・防災に御尽力いただいている消防防災関係者の皆様方の御支援と御協力により入間東部地区の防災力は着実に進展してまいりました。

発足時から消防力を振り返りますと、社会情勢や自然環境も大きく変化しました。高齢化社会を迎え救急需要が増大するとともに、全国各地での大規模地震、大型台風や局地的集中豪雨などの自然災害が発生、また、強風下における延焼建物火災、大型倉庫火災など、消防を取り巻く環境は大きく変化し、消防への行政需要はますます高まっています。

今後も、入間東部消防の歴史の中で培われた各種災害への防御を始めとする消防防災業務から得た経験を教訓とし、消防職員一人ひとりが熱意を持って創意工夫をするとともに、誠心誠意邁進してまいります。

結びに当たり、関係各位のこれまでの御尽力に対しまして、あらためまして感謝を申し上げますとともに、安全で安心して生活ができる消防体制の充実強化に努めてまいりますので、御支援と御理解をお願いして、発足50周年を迎えての挨拶とさせていただきます。

組合消防50周年記念に当たり



富士見市消防団
団長 吉田 和彦



ふじみ野市消防団
団長 木村 宏



三芳町消防団
団長 鈴木 秀幸

入間東部地区事務組合消防本部の50周年の節目に当たり、地域の安心と安全を守るため、日夜献身的な御尽力をされてきた消防関係者の皆様方に心から敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

昭和45年11月の入間東部地区消防組合の発足以来、消防団も組合の組織として50年が経過しました。その間、地域の皆様のお力添えを受け、地域に密着しながら地域防災の担い手として成長してまいりました。現在、組合管内には3消防団3本部23分団が設けられ、消防団員309人(基本団員270人・機能別団員39人)で管内26万人の皆様の生命、身体及び財産を災害から保護するために団員一丸となって消防団活動に取り組んでいるところです。

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(平成25年法律第110号)が施行され、地域に密着し、災害が発生した場合に地域で即時に対応することができる、地域住民の最も身近な消防機関である消防団は地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在であると明確化されたことは、我々消防団が地域の防災リーダーとしての任務をあらためて自覚するとともに、今後も地域の皆様からの負託に対して誠心誠意努力をし、全力で応えていくための熱意の源となっております。

複雑多様化する災害から住民の皆様の安心と安全を守るため、「自らの地域は自ら守る」という意識をさらに高め、消防関係者の皆様方と緊密に連携を図りながら、全ての消防団員が一致団結して精進する所存です。

皆様方には、今後ともより一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。